

令和初めの正月を言祝ぎ、 新年のご挨拶を申し上げます。

昨年1年間は超大型台風の度重なる襲来で、関東地方にも大きな被害が生じました。日本列島に沿って台風が通過するという自然の気象条件によるものとはいえ、地球規模の気候変動を我が事として感じた年でした。また、日本では、サッカーほどには知られていなかったラグビーの世界大会が開催され、日本チームの思いもかけない善戦に国中が沸き、豪雨によって試合が中止になっても、訪れた地の瓦礫の撤去に力を尽くす外国選手の姿に、スポーツを超えた人と人の絆や世界とのつながりに新しい時代の光を見る思いいただきました。

それらの希望は、新天皇のご即位と共に始まった「令和」という時代の空気ももたらしている様にも感じます。しかし、日本を取り巻く国際環境、特に東アジア情勢も緊張の火種をはらんでおり、安心できる状況ではありません。夏には2度目の東京オリンピックが開催され、世界中の人々がやってくるでしょう。この一年がどんな年になってゆくのか？

希望と不安の中、2年目の令和の扉が開きました。



今年も、スタッフ一同、眼科の診療を介在として皆様の健康を見守り、お支えてゆきたいと願っております。本年もよろしくお願い申し上げます。

2020・令和2年 元旦
くまがい眼科院長
熊谷和久

院長の紹介 1953年熊本市に生まれる。1977年熊本大学医学部を卒業後、大学病院・市民病院で眼科診療に従事。1987年に上京し、眼科診療の傍ら、西洋医学と東洋医学を融合した「タニクリニック」で学び、中医学(中国伝統医学)の中心「北京中医学院」に留学し、東洋医学を研鑽。1992年、当地駒込にて眼科クリニックを開業。現在は豊島区の中学校1校・小学校2校・幼稚園7カ所の眼科校医・園医も勤めています。中医学に加えて、「日本胎盤臨床医学会(プラセンタ治療を志す医師の会)専門医」、「ボトックス治療専門医」や「抗加齢医学(アンチエイジング)専門医」などの資格も取得し、プラセンタ治療の緑内障への応用など新しい治療法を取り入れている。これからの医療のあり方を模索している「トータルライフ(TL)医療研究会」にも所属しています。



正常眼圧緑内障

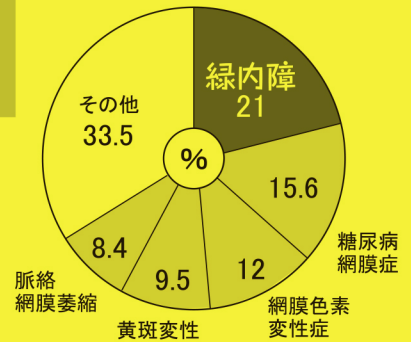
せいじょうがんあつりよくないしょう

緑内障は、眼球の中の圧力（眼圧）が高くなり、視神経が圧迫されて障害を起こし、その視神経が担当している視野から欠けてくる病気と考えられてきましたが、近年の研究で日本人は眼圧が正常範囲内であっても、緑内障を起こすことが多いと判明しています。自覚症状はほとんどないため、早期発見が何よりも重要なのです。

緑内障の90%の方は、治療を受けていません。

日本人の緑内障で一番多いのは、「正常眼圧緑内障」で、緑内障全体の70%！40歳以上の日本人の17人に1人（5.8%）、465万人いると想定されています。痛みなどの自覚症状が乏しく進行も遅いため、発見が難しく正しく診断されて治療を受けている方は、10%ほどだと言われています。

日本人の中途失明の原因



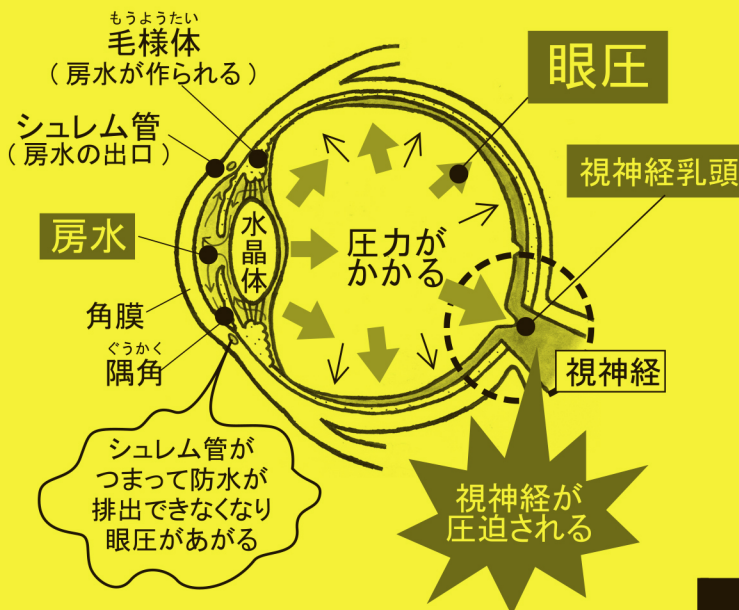
(注)名古屋市立大学などによる2014年の研究報告をもとに作成

眼圧って なんですか？

簡単に言えば、眼圧とは「目の硬さ」のことです。風船やボールが、空気が詰まって丸い形を作っているように、眼球の中を循環する房水によって、一定の圧力を保っています。この房水による眼球内の圧力を「眼圧」と言います。

眼圧が正常なのに、なぜ見えなくなるのですか？

「正常」とは、統計学の用語で、「96%の人がそこに属する範囲を“正常”と呼びます。「正常＝病気ではない」と考えがちですが、単に統計学での用語なのです。眼圧の値は、mmHgという単位で表し、中央値は15mmHgで、96%の方が10～20mmHgに入るので、その範囲を「正常眼圧」と呼んでいます。つまり正常眼圧で緑内障になっている人もいれば、20mmHg以上の高眼圧なのに、緑内障ではない方もおられるということです。



●隅角・房水については、くまがい眼科通信17号をご覧ください。

「40歳過ぎたら何の自覚がなくとも眼科受診されることをお勧めします」

当院で正常眼圧緑内障の治療を受けている患者さんは、
(1) 他の眼病（結膜炎）などで受診された。
(2) 健康診断や人間ドックなどの眼圧検査や眼底カメラで緑内障を疑われ、紹介されて受診された。
ほとんどの方が、このどちらかです。
ある意味、偶然に発見されての治療開始なのです。

緑内障で一番有効な治療は、 「眼圧を下げ、進行を遅らせる」 ことです。

問題なのは、現在の医学では、一度失った視野を回復させる方法はないことと、見つかった時点で完全に進行を止める方法もないことです。ただ、点眼などによって眼圧を下げる等の方法で、「病気の進行を遅らせることは可能」です。「正常眼圧緑内障」も、眼圧を下げることで、進行を遅くすることができることは知られています。

前視野緑内障 ぜんしやりよくないしょう

緑内障という疾患は視野障害があって初めて付けられる病名ですが、眼底検査で緑内障を思わせる視神経菲薄化（ひはくか・視神経の層が薄くなっている）、視神経乳頭出血などがあるのに視野が正常の場合、「前視野緑内障」と呼ばれます。視野欠損が生じる前の段階で、その危険性が察知されるようになりました。これには、OCT検査（光干渉断層計検査）の普及が一役買っていますが、治療を開始するかどうかについては慎重であるべきとされています。

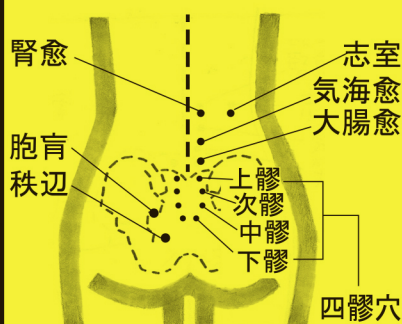
プラセンタ治療「腰痛編」

当院でプラセンタのツボ打ちを始めてから治療者数も100名を超えていますが、肩、首の痛み（肩こり、首こり）と腰痛には、非常に有効なことが多いと感じています。プラセンタ注射は、整形外科領域でなかなかの難病である「脊柱管狭窄症」でも、継続的な通院で手術を免れている方もおられるくらい有効であると感じています。どのツボに注射するかは、患者さんの状況に応じ（主に圧痛の部位などを参考に）してツボを選択して治療しています。今回、腰痛を主訴として受診された方の中から、改善度の高かった4人の症例をご紹介します。

1. Kさん

50代・女性

秘書

せきちゆうかんきょうさくしやう
脊柱管狭窄症

数年前から、1～2週に1回ほどの割合で継続的に治療中。（現在100回以上施術）

当初、腰痛ベルトをしないと歩行もできず、整形外科で手術をすすめられたが手術はせず、現在はベルト無しで元気に仕事を続けています。

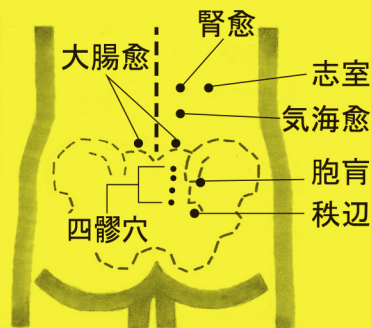
使用量 1回、4アンプル

主な使用ツボ 志室・上膠・胞育・秩辺

2. N氏

50代・男性

編集者

椎間板ヘルニア
ぎっくり腰

腰痛で動けなくなり、当院までタクシーで来られたが、帰りは、最寄り駅まで徒歩で帰宅されたそうです。

使用量 6アンプルを週2回で施術。4回目より3ヶ月間、2週ごとに数回施術し、その後は予防的に寒い時期に治療を受けておられます。

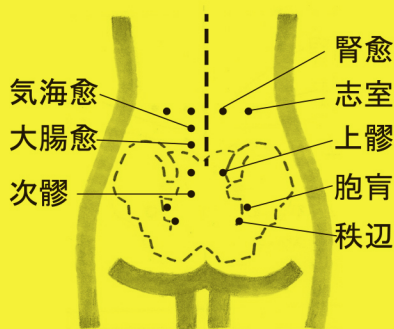
主な使用ツボ 上膠などの四膠穴、志室など

3. Yさん

70代・女性

医師

ぎっくり腰



以前より病弱で、風邪などでも寝込むことが多く、肩こり、頭痛、腰痛が強かった。2年間毎週通院して100回以上の治療を続けられて、現在は寝込むこともなく、歩行も力強くなり、肩こり・腰痛も軽減しました。

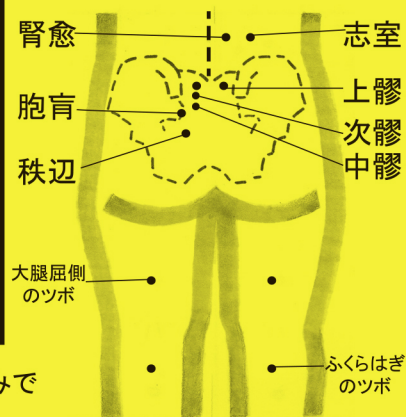
使用量 週1回、8アンプルを毎週施行（肩と腰両方で）

主な使用ツボ 志室、上膠、気海愈、大腸愈など

4. O氏

70代・男性

アメリカ在住

せきちゆうかんきょうさくしやう
脊柱管狭窄症

腰痛と足の痺れ、痛みで歩けないことがある。

2年半前より、来日される度に2～3回ほど治療を継続。

使用量 1回、5アンプル

主な使用ツボ 志室、上膠などの四膠穴、大腿屈側のツボ、ふくらはぎのツボなど

症例を重ねてきて、腎愈・志室・気海愈・大腸愈などの腰部のツボと、上膠を含む四膠穴・胞育・秩辺などの臀部（お尻のあたり）のツボが多いのがわかってきました。これらの中でも腎愈・志室・上膠の3箇所は、ほぼ全例の患者さんの治療に使っており、腰痛治療の要点だと感じています。今回は、腰痛について書きましたが、Yさんのように、虚弱な体質の方が元気になって寝込まなくなるなどの全身的な改善が得られたり、髪質が変わってコシが強くなった・皮膚がきれいになったなどの美容的な好影響が、副産物として現れることもあります。

気になる痛みのある方は、お気軽にご相談ください。

お知らせ

診療時間 一部変更のお願い

1月6日(月)から、午後の受付終了時間が、今までより30分早くなります。

- 診療時間**
- 午前 9:30 ~ 13:00 (今まで通り)
 - 午後 15:00 ~ **18:00** (30分早くなります)

時間のかかる以下の3つの検査などは、受付終了時間が、さらに1時間早くなりますのでご注意ください。

- 散瞳検査：瞳を目薬で開いて眼底を詳しく診る検査
- 視野検査：緑内障などで見える範囲を調べる検査
- 眼鏡合わせ：眼鏡作成のための練習など

- 検査受付**
- 午前 9:30 ~ **12:00** 受付終了
 - 午後 15:00 ~ **17:00** 受付終了

よろしくお願いいたします。
スタッフ一同



くまがい眼科インフォメーション

くまがい眼科/ホームページアドレス
<http://kumagai-ganka.com/>



年末年始の休診 2019 2020
12月29日(日)~1月5日(日)

診療時間 午前9:30~13:00 午後15:00~18:00

	月	火	水	木	金	土	日・祝	臨時休診のお知らせ
午前	○	○	休診	○	○	○	休診	3月21日(土) 7月11日(土)
午後	○	○	休診	○	○	休診	休診	詳細はHPで

☎ 03-3910-2472

〒170-0003 東京都豊島区駒込6-26-16
サカガミビル2F

交通機関



東京メトロをご利用の場合

- 南北線・駒込駅より徒歩10分
- 南北線・西ヶ原駅より徒歩10分

JRをご利用の場合

- JR山手線・駒込駅より徒歩10分
- JR京浜東北線・上中里駅より徒歩10分

バスをご利用の場合

- 茶51路線(駒込駅南口→お茶の水駅前・秋葉原駅前) 駒込駅下車徒歩10分

お願い

散瞳検査を行う可能性がある場合は、お車での来院を、お控えください。

車をご利用の場合

- 近隣の有料駐車場をご利用ください。(多数あり)